



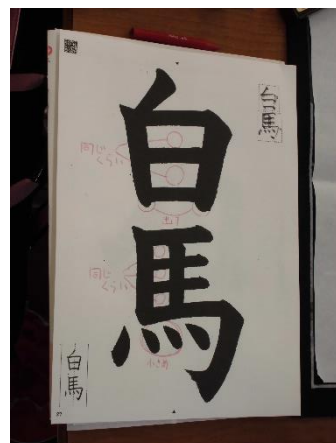
ドラえもん道具編⑥
～ミラクルレンズ～
このレンズをカメラにつけて撮影すると奇跡を起こすことができる。

～教務主任 書写授業研究～

単元名 「文字の配列」 漢字どうしの大きさ

成果

- 前時の自分の作品を机の上に置いて手本と比べることで、自分の課題を具体的に設定することができていた。
- グループの中で、「ここをこうしたら?」「書き順しっかり覚えていないとだね。」など課題解決につながる対話が自発的に行われていた。対話が自然とできていた。
- 前の作品、そして本時の自分の課題と比べて振り返りができ、本時の練習での成果を実感することができていた。
- 本時の学習内容が板書に示され、子どもたちは安心して練習することができていた。



課題

- 水書板や動画を使って手本を示すとよい。筆使い（筆への角度、筆圧、運筆の速さ、リズムなど）はそうすることによってしか伝えることはできない。
- 振り返りを手本の裏に書いていたが、表の空いたスペースに書いた方が、めあてを確認しながら書けると思う。

